

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 I	確かな学力と時代の変化に対応する力の育成
施策 1	確かな学力の育成
目標項目	L-1 埼玉県学力・学習状況調査の平均正答率

実績値 (令和元年度)				
科目	小学校		中学校	
	狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県
国語	55.5	55.9	58.4	58.7
算数	66.1	66.6	-	-
数学	-	-	59.6	59.3
英語	-	-	56.6	56.1

令和7年度末数値 (小6及び中3)				
科目	小学校		中学校	
	狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県
国語	57.4	59.3	55.9	57
算数	49.9	52.4	-	-
数学	-	-	52.8	56.7
英語	-	-	48.8	51.5

目標値 (令和7年度)
全科目で県平均正答率を上回る

令和7年度までの取組

- ・県及び市教育委員会主催の各種研修への参加及び学校研究、学校指導訪問等によって、教員の授業力の向上を図った。
- ・学力向上に向けて、学力向上ストラテジープランを各学校において策定し、目標達成に向けてPDCAサイクルにより進捗を管理した。
- ・学校指導訪問において、令和元年度に改訂した狭山市学力向上茶レンジ・プランに基づいた授業を指導することにより教師の授業力の向上を図る。



目標値に対する達成状況（総括）

令和元年度から少しずつ上昇傾向にあったが、令和7年度は、目標値よりも小学校、中学校共に、県平均を下回った。



今後の取組予定

- ・学校指導訪問において、狭山市学力向上茶レンジ・プランに基づいた授業を指導することを継続して取り組み、教師の授業力の向上を図る。（市の重点として、特に提言6について全小中学校が取り組む。）
- ・学力向上ストラテジープランに数値目標及び全国学調や県学調の自校の平均点等を掲載させ、定量的評価によるPDCAサイクルの管理に一層努める。
- ・全国及び県の学力調査問題及び結果を活用するとともに、指導力向上を図る研修会を実施し、各校での結果を指導に生かす取組みを行う。
- ・令和元年度に開始した小学4年生を対象に実施する算数の学習支援事業を行い、家庭（学校外）における学習習慣の確立、基礎学力の定着・向上を図る。中学生には、さらに長期休業中に集中講義を行う。また中学2年生を対象に英会話アプリを導入し、積極的な活用を図る。
- ・令和3年度より導入した1人1台端末を活用した学習について授業力向上研究委員会を中心に研究し、学校での活用を推進する。
- ・学力の伸びを大幅にUPさせた教員の指導技術を集め、全教職員に共有できるようにしていく。
- ・家庭学習におけるAI型オンライン学習ドリルや英会話アプリの活用を推進する。
- ・小中学校全通常学級に電子黒板を導入し、活用した授業づくりを推進する。

所管課

教育指導課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 I	確かな学力と時代の変化に対応する力の育成
施策 1	確かな学力の育成
目標項目	L-2 全国学力・学習状況調査において、学校に行くのが楽しいと答えた児童生徒の割合

実績値 (令和元年度)		
	小学校	中学校
狭山市	83.9	82.4
埼玉県	86.3	82.4
全国	85.8	81.9

令和7年度末数値		
	小学校	中学校
狭山市	87.1	86.7
埼玉県	88.4	87.8
全国	86.5	86.1

目標値 (令和7年度)
県、全国平均値を上回る

令和7年度までの取組
・望ましい人間関係を築く力を培うため、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に取り組んだ。 ・いじめ防止のため、児童生徒の人権感覚を育成するとともに、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な取り組みを行った。 ・学校の教育活動全体を通して、児童生徒に他人を思いやる心、善悪を判断する力や公共心を培うための取り組みを実施した。



目標値に対する達成状況（総括）
小学校、中学校ともに、全国平均は上回ったが、県平均は下回った。また小学校、中学校ともに令和元年度より高い数値となっている。



今後の取組予定
・研修等の充実により教職員の指導力向上を図り、児童生徒が学習の成果を実感できる授業の実践を推進する。 ・「特別の教科道徳」及び特別活動における指導を通して、道徳性や社会性を養うと共に、集団の中で望ましい人間関係を築くことができる能力を育成する。 ・「学校生活充実支援委員会」を発足し、児童生徒が安心して生活できる環境や支援方法について研究を推進する。 ・QUテストや「人権感覚育成プログラム」を活用して、楽しい授業や学級づくりへとつながるように、推進する。

所管課	教育指導課
-----	-------

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 I	確かな学力と時代の変化に対応する力の育成
施策 2	時代の変化に対応した教育の推進
目標項目	L-3 C E F R（セファール）のA1相当レベル以上の英語力を持った生徒の割合

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
55.0%	52.5%	全国の目標値 50.0%を上回る

令和7年度までの取組
・民間学習塾と連携した中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」の実施 ・英語検定料の公費負担（実用英語技能検定、中学3年生対象） ・民間企業と連携した「オンライン英語検定対策講座」を実施



目標値に対する達成状況（総括）
令和元年度末に達成。



今後の取組予定
・中1から中3対象の中学生学習支援事業、英語検定料の公費負担は継続し、「A I 英会話アプリ」を英語及び英会話力の強化を目的に導入する。令和8年度は、小6及び中2で導入し、活用状況や学習意欲、英語力への効果を検証していく。

所管課	教育センター
-----	--------

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 II	豊かな心の育成と健康・体力の増進
施策 1	豊かな心の育成
目標項目	L-4 埼玉県学力・学習状況調査における規律ある態度の定着度

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
	88.3%	全項目80%以上

令和7年度までの取組
児童生徒に基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせ、規範意識を大切にし、社会生活の中で規律を守って行動できる態度の育成を図った。



目標値に対する達成状況（総括）
各学年12項目、小4～中3までの合計72項目中、目標達成は65項目であり、達成率は88.3%である。



今後の取組予定
・「特別の教科道徳」の研究を継続する。 ・規範意識を向上するため、家庭や地域へ学校の道徳授業などの情報発信につとめ、家庭教育への普及を図る。 ・あいさつについては、大きな声で元気よくというだけでなく、会釈やジェスチャーといった動作も身に付けられるようにしていく。 ・発表にICTを活用し、個別最適化を図るとともに、電子黒板の活用や協働的な学びをとおして多様性を育む。

所管課	教育指導課
-----	-------

埼玉県学力・学習状況調査における規律ある態度の定着度 参考資料

※ は、80%以上				令和7年度					
内容	項目			小4	小5	小6	中1	中2	中3
けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	①登校時間	埼玉県（平均）	93.3	93.9	94.4	97.7	96.6	96.1
			狭山市	93.8	94.3	95.8	97.9	97.1	97.3
	2 頓身をする回りの整理整	②授業開始時刻	埼玉県（平均）	88.4	91.2	95.4	96.6	97.4	97.7
			狭山市	88.7	89.3	94.6	97.4	98.1	98.5
		③靴そろえ	埼玉県（平均）	77.8	80.7	87.4	89.6	91.6	93.1
			狭山市	80.0	79.7	88.1	91.0	92.5	93.6
礼儀正しく人と接することができる	3 返進事をあいさつや	⑤あいさつ	埼玉県（平均）	81.5	82.0	84.5	88.1	88.1	87.5
			狭山市	80.9	78.3	80.0	85.7	86.6	86.9
	4 かていをねいになつ葉るづ	⑥返事	埼玉県（平均）	88.5	91.1	93.6	94.8	94.9	95.3
			狭山市	89.8	91.0	93.1	95.2	95.9	95.1
		⑦ていねいな言葉づかい	埼玉県（平均）	88.7	90.3	92.9	91.7	92.8	93.9
			狭山市	87.6	87.0	90.4	90.6	92.0	94.8
約束やきまりを守ることができる	5 る学習のきまりを守	⑨学習準備	埼玉県（平均）	82.4	85.9	89.7	92.8	93.6	94.3
			狭山市	83.3	82.7	89.8	95.0	94.0	96.2
	6 る生活のきまりを守	⑩話を聞き発表する	埼玉県（平均）	83.8	83.2	83.7	83.4	83.3	85.4
			狭山市	80.4	80.7	82.4	81.2	81.4	84.7
		⑪集団の場での態度	埼玉県（平均）	82.9	84.6	87.8	92.0	93.1	94.8
			狭山市	82.2	82.7	84.9	91.9	93.4	95.8
		⑫掃除・美化活動	埼玉県（平均）	87.7	87.3	88.9	87.7	88.0	89.2
			狭山市	89.1	88.5	88.1	89.6	90.4	90.4

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 II	豊かな心の育成と健康・体力の増進
施策 2	生徒指導の充実
目標項目	L-5 いじめの解消率及び不登校児童生徒の学校復帰率

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
解消率 81.8% 学校復帰率 19.7%	解消率 81.5% 学校復帰率 20.7%	解消率 100% 学校復帰率 33.3%

令和7年度までの取組

- ・すべての小中学校で、いじめを含む生活アンケート、QUTテスト、二者相談等の実施により、アンテナを高くし早期発見・早期対応がなされた。
- ・各校で取り組んでいる道徳教育によって、道徳的心情や道徳の実践力が培われた。また、自己有用感を高めるような活動が取り入れられた。学校では、いじめが疑わしい段階から認知できるよう、組織的に対応し、迅速に解決に至る努力を行っている。しかし、平成29年3月以降いじめ解消の定義が変更されたため、近年いじめ解消率は若干低下していたが、令和6年度は令和元年度（81.8%）より上回ることができた。しかしながら、令和7年度は、令和元年度をやや下回る結果となった。
- ・不登校児童生徒及びその保護者との面談を、教育センター相談員6名により、継続的・定期的実施した。さらに、各学校のスクールカウンセラー及びさやまっ子相談員・支援員と教育センターの学校課題解決支援員、相談員、適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー、こども支援課との連携を密にすることで、相談・指導・支援の充実を図り、学校への復帰を促した。
- ・茶レンジルーム「ひだまり」の支援体制を強化した。
- ・スペシャルサポートルーム活用を推進した。



目標値に対する達成状況（総括）

- ・いじめの解消率は、昨年度（85.7%）よりも若干減少した。
- ・不登校児童生徒数の復帰率については、昨年度（20.7%）よりも増加した。
- ・いじめ解消率は、年度によって若干の差はあるものの、令和元年度とほぼ横ばいであった。
- ・不登校児童生徒数の復帰率は、目標値には達していないが、令和元年度から徐々に改善傾向にある。



今後の取組予定

- ・学校生活充実支援委員会で不登校対応支援ガイドブックを作成し、各学校に広めていく。
- ・今後も教育センター相談員、学校課題解決支援員、茶レンジルーム「ひだまり」指導員、スクールソーシャルワーカー、こども支援課等と学校との連携強化により、相談・指導の充実を図っていく。
- ・茶レンジルーム「ひだまり」の支援体制を強化していく。
- ・スペシャルサポートルームの効果的な活用を推進する。

所管課

教育指導課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 II	豊かな心の育成と健康・体力の増進
施策 3	体力と健康の増進
目標項目	L-6 不足しがちな栄養素の充足率

実績値 (令和元年度)		
	小学校	中学校
カルシウム	101%	94%
鉄	102%	99%
ビタミンC	137%	100%
食物繊維	96%	86%

令和7年度末数値		
	小学校	中学校
カルシウム	103.0%	92.0%
鉄	121.0%	117.0%
ビタミンC	136.0%	100.0%
食物繊維	92.0%	95.0%

目標値 (令和7年度)
各種栄養素の充足率を 95%以上にする

令和7年度までの取組
中学校の不足しているカルシウムについては、7月、9月の2か月間に牛乳を250mlで提供し、シチューなどの献立には、脱脂粉乳や粉チーズなどを入れカルシウムが摂れるような献立にした。食物繊維については、こんにゃくやごぼう・きのこなどを積極的に献立に取り入れ、充足するように努めた。



目標値に対する達成状況（総括）
国の摂取量基準が高いため、すべての栄養素での目標達成には至らなかったが、献立等を工夫しおおむね達成できている。



今後の取組予定
達成に至らなかった栄養素を中心に、新しい献立の試作等を実施し、目標値を達成できる献立作成に取り組む。

所管課	入間川学校給食センター
-----	-------------

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 II	豊かな心の育成と健康・体力の増進
施策 3	体力と健康の増進
目標項目	L-7 新体力テストの5段階総合評価のうち上位3ランク（A・B・C）の児童生徒の割合

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
(小学校) 81.8% (中学校) 83.9%	(小学校) 77.6% (中学校) 78.8%	県の目標を上回る (小学校) 80.0% (中学校) 85.0%

令和7年度までの取組
体力向上研究委員会が中心となり、新体力テストの結果分析と課題種目への取組、正しい測定方法の研究、授業研究、小学校を対象としたリズム体操の開発及び普及、中学校でも活用できるエアロビクスの要素を取り入れたリズム体操の開発と普及、そして教員や保護者向けの広報活動等に取り組んだ。



目標値に対する達成状況（総括）
小学校は昨年度（77.5%）とほぼ横ばい、中学校は昨年度（79.2%）からの若干の低下という結果であった。



今後の取組予定
・総合評価において、小中学校男子の数値を向上させる。 ・狭山市及び西部教育事務所管内の課題種目の「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均値を上回る学年を増やす。 ・幼稚園・小学校低学年から、いろいろな運動に慣れ親しめるようにすることや、学びを実感できるような授業改善を行い、運動好きの児童生徒を増やし、体力向上につなげる。

所管課	教育指導課
-----	-------